

日本関節運動学的アプローチ医学会理学・作業療法士会ニュース

Vol.56 2019.4

§ 日本AKA医学会理学・作業療法士会 ホームページのお知らせ

<http://akaptot.com/>

会員の方は新規にログインしてご利用ください。

各種研修会情報や学術集会申し込み、変更手続きなどが行えます。

§ 会ウェブサイトリニューアルのお知らせ

皆様にご利用いただいている会のウェブサイトですが、5月末頃にリニューアル予定です。

掲載記事の増加、スマートフォンからの閲覧のしやすさなど、改善に向けて鋭意作業中です。

リニューアル予定時期に数日ほどウェブサイトの閲覧ができなくなる可能性がありますので決定次第ウェブサイトの「トピックス」にてお知らせいたします。

今後とも当会ウェブサイトをよろしくお願いいたします。

§ 2019 年度事業計画

予定されている全国規模の事業内容です。日時は会場の都合により変更となる場合がございます。

なお、以下の事業は医業類似行為の専門職として就労活動をしている方は参加できません。

内容	日時	担当ブロック
学術集会		
第 20 回学術集会（大阪）	2019 年 7 月 14 日	近畿ブロック
詳細は記事および同封の案内をご覧ください		
基礎コース		
第 29 回基礎コース（東京）	2019 年 9 月～12 月	関東・甲信越ブロック
詳細は記事および同封の案内をご覧ください		
フォローアップコース		
第 21 回フォローアップコース	（予定）2019 年 12 月 7・8 日	東海・北陸ブロック
只今準備中です		
応用コース		
第 8 回応用コース（福岡）	2019 年 11 月 3・4 日	九州・沖縄ブロック
詳細は記事をご覧ください		
受験コース		
第 14 回受験コース（山口）	2019 年 12 月 21・22 日 2020 年 1 月 18・19 日	中国・四国ブロック
詳細は記事をご覧ください		

§ 第 20 回学術集会（大阪）のお知らせ

第 20 回学術集会を下記の通り開催致します。詳細については別紙開催案内をご参照下さい。
また、同封しておりますポスターを勤務施設内に掲示して頂き、職場の皆様もお誘い合わせの上、ご参加頂けますと幸いです。

なお、すでに参加申し込み手続きを開始しております。案内をよくお読みになり、速やかにお手続き下さいますようお願い致します。

テーマ：「AKA - 博田法・ANT ～未来（明日）への道標～」

開催日時：2019 年 7 月 14 日（日）9：55 ～16：40

開催地：メルパルク大阪 2 階 メルパルクホール
〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 4 - 2 - 1
<http://www.mielparque.jp/osaka>

交通：JR 新大阪駅北出口より徒歩約 5 分

対象者：理学療法士・作業療法士・医師・学生（PT 学科・OT 学科）

学術集会専用ホームページ：https://peraichi.com/landing_pages/view/akaptotgakujutsu20th

<懇親会ご案内> （日本 AKA 医学会理学・作業療法士会 会員対象）

日 時：2019 年 7 月 13 日（土）18：00～20：00

場 所：新大阪ワシントンホテルプラザ（新大阪駅より徒歩 5 分）

参加費：5,500 円

※事前参加のみ受け付けております。学術集会事前参加申し込みをされる際に、合わせてお申し込み下さい。

§ 第 29 回基礎コース（東京）のお知らせ

2019 年度の基礎コースは東京での開催になります。

基礎コースは年一回企画され、AKA－博田法関連の基礎～最新の知識・技術をほぼ網羅し、詳しく学べる機会となります。奮ってご参加ください。

詳細については別紙をご参照下さい。

日程：I 期：2019 年 9 月 14 日（土）・15 日（日）・16 日（祝）
II 期：10 月 12 日（土）・13 日（日）・14 日（祝）
III 期：11 月 16 日（土）・17 日（日）
IV 期：12 月 14 日（土）・15 日（日）

場所：東京工科大学 蒲田キャンパス JR 蒲田駅徒歩 3 分・東急蒲田駅徒歩 15 分

対象：PT・OT 48 名（日本 AKA 医学会理学・作業療法士会会員であること）

受講費用：15 万円（振込み方法は後日連絡）

申込開始：2019 年 6 月 1 日（金）先着順に受け付けます

申込方法：申し込みは当会ホームページよりお申し込みください。

§ 第 8 回応用コース（福岡）のお知らせ

本コースは日本 AKA 医学会理学・作業療法士会会員のうち、指導者助手、認定療法士を対象にさらなる技術向上を目的としたコースです。講師、技術指導はすべて当会認定の指導者が行います。詳細は次号ニュースもしくは当会ホームページに掲載予定です。

なお、近年福岡市では宿泊予約が困難になっておりますのでご注意ください。

開催日 : 2019 年 11 月 3 日 (日)・4 日 (月・祝)
開催場所 : 佐田病院 (福岡市中央区渡辺通 2-4-28)
西鉄電車天神大牟田線薬院駅／福岡市営地下鉄七隈線薬院駅より徒歩 3 分
福岡空港より地下鉄・西鉄電車で約 30 分
JR 博多駅より西鉄バス(100 円)で約 15 分
対象 : 指導者助手および認定療法士
定員 : 42 名 (先着順)
受講費 : 30,000 円

§ 第 14 回受験コース (山口) のお知らせ

2019 年度受験コースは日程を前期・後期に分けて開催する予定です。

前期は指導者・指導者助手受験予定者対象、後期は認定療法士受験予定者対象といたしておりますので、ご確認の上お申し込み願います。なお、コースの詳細は 8 月の当会ニュースにてお知らせいたします。

【前期】

開催日 : 2019 年 12 月 21 日 (土)、22 日 (日)
場所 : 山口南総合センター
対象者 : 指導者助手試験 受験予定者 (認定療法士有資格者)
指導者試験 受験予定者

【後期】

開催日 : 2020 年 1 月 18 日 (土)、19 日 (日)
場所 : 山口南総合センター
対象者 : 認定療法士試験 受験予定者

※会場の山口南総合センターは新山口駅 新幹線口から車で 10 分程度です。

山口市名田島 1218-1 TEL 083-972-4777

※申込時に受験資格を有し、今年度受験される方が対象になります

§ 第 13 回受験コース (福岡) 開催報告

新年早々の 1 月 13・14 日に福岡市・佐田病院にて第 13 回受験コースが開催されました。

受験コースは当会認定試験受験者を対象に、AKA-博田法の技術がほぼ網羅される全ての受験項目を 2 日間にわたって研修する特別なコースです。

北は北海道から南は熊本県にわたり、認定療法士受験者 30 名、指導者助手受験者 39 名、計 69 名の受講でした。

当会の認定資格制度には認定療法士・指導者助手・準指導者・指導者・上級指導者があり、各々の認定基準が満たされているか審査の上、認定試験を受験できます。いずれの試験にも実技試験が含まれます。

当コースでは認定療法士および指導者助手を中心に試験の基準やポイントがデモンストレーションで示され、また各練習では個人個人に合わせて指導者が指導を行います。どの受講者の皆さんも二日間にわたり真剣に取り組まれていました。

アンケートでも「受験コースということにより細かい部分や自分の癖に対し一つ一つ丁寧に指導していただきわかりやすかった」「一人ひとりどこが悪いのかその人に合わせた指導が多かつ

た」という意見が多数見受けられました。また、試験対象項目を網羅する必要があるため時間的な制約もあり、「時間が足りなくてもっと指導してほしかった」という意見も複数見られました。中には「ビデオ撮影されている参加者が多数ですが自分本意な行動（被験者をやりたがらない。他の人に撮影させるなど）が気になった」等の意見があり、主催者としてそういったオリエンテーションも必要だと勉強させられる意見もありました。ありがとうございました。このニュースがお手元に届くころには、既に試験結果が出ていることと思います。皆さんのご健闘ならびに良い結果が出ておりますことを祈っております。

近年では受験者数の増加に伴い、会場の確保が困難な状況にあります。開催地域によって開催スタイルの変更を余儀なくされるケースも考えられます。何卒ご理解頂けますと助かります。今年度は中・四国ブロックの担当で山口での開催の予定です。前項の通り、対象者別に 2 回に分けて開催予定です。

開催責任者
九州・沖縄ブロック
杉尾秀一



§ 平成 30 年度 A K A - 博田法 認定試験結果

平成 30 年度の認定療法士および指導者助手の受験者数は、昨年度と比較して、やや減少となっています。それぞれ合わせて 29 年度の 113 名に対して、30 年度は 98 名（-15 名）となりました。指導者の受験者数は同様に 8 名に対して 30 年度は 6 名（-2 名）でした。

合格者数は年度によって波はありますが、平成 30 年度の認定療法士および指導者助手は、それぞれ減少となりました。指導者は 2 年ぶりに 1 名の合格者がありました。受験状況と結果の詳細は以下のとおりです。

◆認定療法士および指導者助手

第 14 回 AKA－博田法の認定療法士および指導者助手の認定試験が、平成 31 年 3 月 10 日に実施されました。認定療法士の受験者数 50 名に対して 16 名、指導者助手の受験者数 48 名に対して 5 名の合格者がありました。

◆指導者

指導者認定試験が AKA 医学会の下で平成 31 年 3 月 17 日に実施されました。指導者の受験者数 6 名に対して 1 名の合格者がありました。

◆上級指導者

上級指導者の受験者はありませんでした。

※（ ）は昨年度の結果

認定資格	受験者数（昨年）	合格者数（昨年）	合格率（昨年）%
1. 認定療法士	50 (55)	16 (20)	32.0 (36.4)
2. 指導者助手	48 (58)	5 (14)	10.4 (24.1)
3. 準指導者	—	—	—
4. 指導者	6 (8)	1 (0)	16.7 (0)
5. 上級指導者	0 (0)	—	—

なお、認定療法士、指導者助手、準指導者、指導者の資格は認定登録手続きを経て正式に与えられます。

認定委員会委員長 井端康人

§ リレーコラム（第15回）

～最近思うこと～

関東甲信越ブロック
片岡整形・形成外科
甲斐田麻由子

今は見る影もないですが幼い頃より一般的な言葉でいうと「運動神経はよい」方でした。野球、水泳、バレーボール、剣道、ダンス等々やっておりましたがそこそこできてレギュラーやセンターなどをやらせてもらえました。

がしかし、何をやってもそこそこで終わり。

水泳→フォームはきれいだけど…遅い。球技・剣道→フォームはきれいだけど…弱い。ダンス→正しくてきれいだけど浮ついたようにみえてかっこよくない、といった感じです。

今思えば、手で水を力強くかく感覚、球に自分の力を伝える感覚、しっかり足で床をとらえる感覚、最も根本的な体の使い方である「腰を入れる」がわかっておらず、形を整えていただけなので、熟練した人たちの中では到底太刀打ちできるはずもなく何もものにならずに終わっていたように思います。

指導者となって博田先生にご指導いただくときも「弱い」のお一言。Strengthの問題ではなく使い方の問題と。どうやら腹筋を鍛えればよいというわけでもなく、他人から使い方を聞いてわかる問題でもない。いよいよ形だけではごまかせなくなってきたわけです。

さあ困りました。

これまでの自分のセオリーは全く通用しない。人生でおそらく腰を入れた経験がないので何を手掛かりに「腰が入った」感覚を探していけばいいのか。

密着感？関節の動きが変わる？こうなると今まで密着と思っていた感覚、動いていると思っていた感覚まで疑わしくなってくる始末です。

ご指導いただいたときの感覚を手掛かりにどのように体を使えば同じ感覚を再現できるのか。

お腹に力を入れてみぞおちと腰椎を緩めて骨盤後傾方向に力を入れ・・・母指球おろして尺屈して・・・と、一つ一つ手順を追いつつはたと「これってまた形を追いかけてる!!」。手順を一つ漏らさず積み重ねていけば正しく密着できて動かせるというやり方が今までのセオリーでした。「密着して動かせる感覚が得られたときその形になっている」が正しいのではないかとやっと思ひ始めたのです。博田先生がAKAを開発されたときは関節包内運動だけを意識していて、形をこうしようということはしなかったはずですが。それを人に伝えるために「形」にしたことを考えるとごく当たり前のことです。

「何を今さら」と言われそうですが、見かけ倒しで生きてきた私にとってはショッキングなことで「形」から「感覚」に思考を変えていくのは至難の業です。しかし、この歳までどっぷりAKAをやってきてここで「できませんでした」というわけにはいきません。学生の時とはわけが違います。何とか習得しなくては転職しなければならなくなります。

とにかく自分の何かを変えなければいけないのはわかります。博田先生が我々に伝えるためにあの手この手と指導法を考えてくださるのに受け手が変わらないのではいけません。研修会で「指導法が変わった」、「指導者によって指導法が違う」と聞くことがありますが（私も言っておりました）、それは見かけ倒しの私がやっていたことと同じで形をトレースしているだけにすぎません。

博田先生が伝えてくださろうとしていることは何も変わっていませんし、指導者が伝えようとしていることも視点が違うだけで本質的なところは同じです。だから何をさせたいのか感じ取れるよう、見るとき、聞くときのフォーカスの当てどころをこちらが変えなければなりません。結局のところ自分がフォーカスしたところに入ってきた言葉や動きしか聞き入れていないことが多いのです。「教科書を何度読んでも新しいことが書いてある!」「博田先生のご講義を何度聞いても新鮮」と思ったことはありませんか？私は未だにあります。残念ながら聞きたいことしか聞いていないようです。だからすべてを網羅するために何度も何度も聴講するのです。

技術も同じでフォーカスを変えて繰り返し練習することでやっ平面的な形ではなく立体的に技術をとらえることができるのかもしれませんが。フォーカスは思い込みや癖のようなもので簡単に変わらないですが、これを変えられれば新しい景色が見える！こんな楽しいことはありません。それを励みにこれからも日々精進していこうと思います。

また、同じ目標を持った仲間と日々切磋琢磨しながら落ち込んだり励ましあったり、飲んだり飲んだり・・・できたから、こんなに長く続けてこられたと思っております。

今の環境に感謝です。

以上、最近思うことを書き綴ってみました。

最後までご覧いただきありがとうございますございました。

§ 地区勉強会情報

全国各地で行われている「AKA-博田法」の勉強会の情報を以下に掲載致します。

「AKA-博田法」勉強会はAKA-博田法の知識・技術を正確に伝える目的で、また「AKA-博田法」が商標登録されています関係で、正式に標榜等許可を得た当会認定の指導者の下で行われるものになります。

なお、当会の直接的な事業とは別のものになります。

非会員も1回は見学が可能となっておりますので、同施設の方や養成校同級生などお誘い合わせの上、参加されてみてはいかがでしょうか。

勉強会開催情報一覧(2019/3/29 現在)

各地で行われている勉強会の開催情報です。

・対象：日本 AKA 医学会理学・作業療法士会会員および日本 AKA 医学会会員

※非会員：1 回のみ見学が可能。但し、理学療法士・作業療法士およびその学生・医師に限る。

尚、医療類似行為の専門職として就労活動をしている方は参加できません。

・会場ならびに指導する療法士の都合により一部変更になることもあるため、参加をご希望の場合必ず事前に e-mail にて問合先にご確認願います。

・これらの勉強会は登録商標である「AKA-博田法」の標榜許諾を得た会認定指導者のもとに開催されているもので、未許可での開催は商標権の侵害にあたり処罰の対象となるためご注意ください。

開催ブロック	開催施設	開催地住所
開催スケジュール		問合先(担当者名・e-mail)
関東甲信越ブロック	リハビリテーションクリニック リハブ土田	東京都目黒区下目黒 6-14-17
奇数月(会員)、第 3 火曜日、18:30~20:30 偶数月(指導者、指導者助手)、第 3 火曜日、18:30~20:30		池谷和弘 k1ikeya@yahoo.co.jp
関東甲信越ブロック	横浜新緑総合病院 リハビリ室	神奈川県横浜市 緑区十日市場町 1726-7
偶数月(会員)、第 1 月曜日、18:30~20:30 奇数月(指導者、指導者助手)、第 1 月曜日、18:30~20:30		永堀造男 nakahori@shinmidori.com
関東甲信越ブロック	恵信甲府病院	山梨県甲府市 上阿原町 338-1
毎月第 3 火曜日、午後 6 時 45 分~9 時		井村順治 keishi19@eps1.comlink.ne.jp
関東甲信越ブロック	恵信梨北 リハビリテーション病院	山梨県甲斐市 岩森 1111 番地
毎月第 1 火曜日、午後 7 時~9 時		加賀美研 k-kagami@keishin-g.or.jp

中国ブロック	相川医院 リハビリテーション室	山口県山口市鑄銭司 四辻 5964-1
偶数月、第 3 水曜日、午後 7 時～9 時		松本啓孝 akaptotchugoku@yahoo.co.jp

§ 都道府県別会員数 1 1 8 6 名（平成 3 1 年 3 月 3 0 日現在）

北海道	9	秋田	12	岩手	6	宮城	7	山形	19		
福島	10	茨城	5	栃木	31	群馬	11	埼玉	42	千葉	63
東京	52	神奈川	92	新潟	2	富山	5	石川	1	福井	1
山梨	126	長野	5	静岡	23	岐阜	10	愛知	34	三重	2
京都	22	滋賀	13	奈良	18	和歌山	15	大阪	137	兵庫	39
岡山	11	広島	21	島根	5	鳥取	14	山口	51	徳島	49
高知	15	香川	19	愛媛	15	福岡	63	長崎	47	熊本	18
大分	15	佐賀	2	宮崎	1	鹿児島	15	沖縄	13		

§ 日本 AKA 医学会理学・作業療法士会

事務局 E-mail: aka-pt@dream.ocn.ne.jp（お問合せは E-Mail でお願い致します）

（編集後記）

新年度に入り元号も発表され、慌ただしい日々だと思いますがいかがお過ごしでしょうか。

この度、入会されました皆様、ご入会を誠にありがとうございます。ならびに更新された皆さんもありがとうございます。

「日本 AKA 医学会理学・作業療法士会」は国内・外の理学療法士・作業療法士に対する AKA-博田法の普及・発展を目的として 1999 年に発足されました。ちょうど 20 年になります。前述の通り、学術集会や各種技術コース、認定試験、指導者の育成・認定等々の事業を行っております。会員の多くは自分の手で患者さんをよくしたい、治したい、まず impairment（機能障害）をしっかりと治療する！という志を持った技術屋の集団です。各事業を通じて『治せる知識・技術』を研鑽頂ければと思います。

リレーコラムは甲斐田先生が担当でした。AKA-博田法の経験のある方皆さんが少なからず感じられるであろうこと、感覚についてなどの思考を甲斐田先生らしい表現でわかりやすく執筆下さいました。このことは編集者も含め、ほぼ全ての方のテーマであろうと思います。

去る 3 月には例年通り認定試験が行われました。結果はどうあれ受験を決心し、それに向けて毎日努力されたプロセスは今後の臨床に生きて患者様に還元でき喜んで頂けるはずです。なんせ博田法ですから！間違いありません。再び・更に・初めて挑戦をされる方はこの一年コース受講を繰り返して真剣に取り組んでみて下さい。

8 月大阪での学術集会は第 20 回の記念大会になります。AKA 発祥の地・大阪です。きっと充実したものになるだろうと楽しみです。入会して、また免許取得間もない方も懇親会を含め、奮ってご参加下さい。

今年度も全国規模、各ブロックの研修コースが多数企画されています。ホームページは随時チェック下さい。なお、当ニュース冒頭に記載のログインユーザー名・パスワードを参考に会員ページに入り、「トピックス」に進みますと過去のニュースを閲覧できます。

新入会の方、未読の方はこれまでの指導者執筆コラムなども是非読んでみて下さい。

新職員にもそして新卒者の同級生にも AKA-博田法と当会の存在を是非ご紹介下さい。